

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年3月20日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年3月20日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5号機原子炉建屋床ドレンサンプ(A)系ポンプの吐出逆止弁の「開」固着について】 当社運転員が5号機原子炉建屋の床ドレンサンプポンプの運転実績を確認したところ、サンプ(B)系の床ドレンサンプポンプが起動すると、サンプ(A)系のポンプが自動起動することを確認。 現場調査の結果、床ドレンサンプ(A)系のポンプ2台のうち、1台の吐出逆止弁が「開」固着しており、(B)系の床ドレンサンプポンプが起動すると当該ポンプを介し(A)系のサンプに流入することが判明。このため、(A)系の床ドレンサンプの水位が上昇し、他方のポンプが自動起動した。 床ドレンサンプ(A)の当該ポンプについては、吐出弁を「閉」とし、運転停止とした。 なお、床ドレンサンプ(A)系は、残りの1台により、汲み上げは可能であることから問題なし。 今後、当該弁の分解点検を実施する。</p>	GⅢ	3月14日